

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

当院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、カルテ番号、性別、年齢、既往歴、手術前の視力、眼圧、緑内障点眼使用数、眼手術既往、手術後の視力、眼圧、緑内障点眼使用数、手術による合併症のデータを使用します。研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	血管新生緑内障に対するバルベルト緑内障インプラントとアーメド緑内障バルブの臨床成績比較
研究機関名	福井大学医学部附属病院 眼科
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山 隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
試料・情報の提供を行う研究機関の研究責任者 (個人情報管理者)	愛媛大学医学部附属病院 (診療科名) 眼科 (職名) 助教 (氏名) 浪口孝治
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2025 年 12 月 31 日
対象となる方	2012 年 4 月から 2021 年 12 月に当院を受診された方のうち血管新生緑内障と診断された患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) カルテ番号、性別、年齢、既往歴、手術前の視力、眼圧、緑内障点眼使用数、眼手術既往、手術後の視力、眼圧、緑内障点眼使用数、手術による合併症 なお、研究成果は学会や雑誌等で発表されますが、個人を識別できる情報は削除し、公表しません。また、取り扱う試料・情報は厳密に管理し、漏洩することはありません。
研究の概要 (目的・方法)	難治性緑内障のひとつである血管新生緑内障に対する手術療法として、チューブシャント手術があり、バルベルト緑内障インプラントとアーメド緑内障バルブの 2 つのインプラント手術が本邦で承認されています。これらの術式について、血管新生緑内障に対してどちらがより効果的であるかの報告は無く、どちらを選択

	するかは術者に委ねられているのが現状です。そこで、バルベルト緑内障インプラントとアーメド緑内障バルブの手術成績を比較検討します。この結果が血管新生緑内障に対する術式選択の指針となる可能性があります。 手術前後の視力や眼圧の記録を調査して、手術の効果について検討します。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。 また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院眼科 浪口孝治 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5361

【共同研究について】

この研究は、以下に記載の他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんの試料・情報等は、氏名や住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を除いた上で、記録媒体を主管機関である愛媛大学医学部附属病院に提供します。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【研究組織】

研究代表者	福井大学医学部附属病院 眼科 岩崎 健太郎
共同研究機関	（研究機関・診療科）（氏名） 福井大学医学部附属病院 眼科 岩崎 健太郎
既存試料・情報の提供のみを行う機関	（研究機関名） 金沢大学附属病院 眼科 東出 朋巳 熊本大学病院 眼科 井上 俊洋 島根大学医学部附属病院 眼科 谷戸 正樹 名古屋市立大学病院 眼科 安川 力 群馬大学医学部附属病院 眼科 新田 啓介 順天堂大学医学部附属順天堂医院 眼科 松田 彰 高知大学医学部附属病院 眼科 三浦 悠作 東邦大学医療センター大橋病院 眼科 石田 恭子 愛媛大学医学部附属病院 眼科 浪口孝治